

高齢者の脊椎・脊髄損傷に関する多施設後ろ向き研究

1. 研究の対象

2010年1月～2021年3月脊椎・脊髄損傷(せぼねやせきずいのけが)により当院で入院治療を受けられた65歳以上の方

2. 研究目的・方法

脊椎・脊髄損傷は交通事故や高所からの転落などにより発生する外傷ですが、超高齢社会を迎えた本邦において、近年では高齢者の転倒や転落が増加しています。脊椎・脊髄損傷の患者年齢層や受傷原因の変化に伴い、損傷形態や治療方法、合併症の評価やその対策を検証することは、現在の運動器診療における重要な課題です。しかし、本邦において高齢者の脊椎・脊髄損傷に関する大規模かつ全国的な疫学、治療成績、合併症などの報告はありません。

本研究の目的は、脊椎・脊髄損傷で入院加療した65歳以上の高齢患者における、受傷機転や損傷状態、治療方法およびその成績、合併症などの臨床データを調査することです。

研究期間:倫理委員会承認日～2021年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療のときのカルテデータ(受傷状況や治療内容、画像検査など)を使います。必要なデータをまとめ、脊椎・脊髄損傷における原因や治療結果に関わる因子を調べる研究を行います。

情報:年齢、性別、身長・体重、受傷状況、画像所見(CT, MRIなど)、既往歴、治療方法、合併症、転帰等

4. 外部への試料・情報の提供

調査結果は、各施設で匿名化されたデータ記載を行い、入力が終了したデータシートは金沢大学附属病院整形外科に転送されます。データは書面または電子ファイルで転送します。

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

金沢大学附属病院(研究責任者:出村諭、加藤仁志)

北里大学病院(研究責任者:井上玄)

九州大学病院(研究責任者:岡田誠司)

慶応義塾大学病院(研究責任者:渡辺航太)

千葉大学医学部附属病院(研究責任者:古矢丈雄)

名古屋大学医学部附属病院(研究責任者:今釜史郎)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部整形外科 喜安克仁 Tel. 088-880-2386

研究責任者：高知大学医学部整形外科 喜安克仁

研究代表者：金沢大学附属病院 整形外科(脊椎・脊髄外科) 出村諭